

	富山大学 保健系分野（看護学・医療技術学、学際・特定）
学部・研究科名	医学部看護学科(第1年次：80名、第3年次：10名) 医学薬学教育部看護学専攻（M：16名） 和漢医薬学総合研究所（共同利用・共同研究拠点）
沿革・設置目的	富山医科薬科大学医学部が設置された後、平成5年、看護学に関する教育・研究を行うことを目的とした医学部看護学科が設置された。 昭和50年（1975年） 富山医科薬科大学医学部設置 昭和38年（1963年） 富山大学薬学部附属和漢薬研究施設設置（和漢薬研究所を経て平成17年（2005年）和漢医薬学総合研究所へ改組） 平成5年(1993年) 医学部看護学科設置 平成9年(1997年) 大学院医学系研究科修士課程看護学専攻設置（平成18年(2006年) 大学院医学薬学教育部に改組） 平成16年(2004年) 国立大学法人に移行 平成17年(2005年) <u>富山大学、高岡短期大学との再編・統合により、富山大学医学部看護学科設置</u> 平成22年(2010年) 和漢医薬学総合研究所が共同利用・共同研究拠点に認定
強みや特色などの役割	○ 富山大学の理念等に基づき、医学部医学科・薬学部と密接に連携し、東西医薬学の融合を理念に、科学と人間性の調和を重視した教育により、慈愛の精神と高い技術を備え、多職種連携で活躍できる医療人の育成を行う。 ○ 県内唯一の4年制看護系学科・大学院として、高度専門職業人及び教育研究者を育成するとともに、富山県と連携し、県内の医療を担う看護職のキャリアアップ支援体制をより一層強化する。 ○ 伝統看護のアイデンティティ再構築と伝統看護療法の向上に関わる研究を推進し、高齢社会におけるコミュニティ再生や介護予防・認知症対策等を始めとする、地域の課題に即し住民の生活文化へ寄与する研究を、多学部連携を活かして積極的に推進する。